



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

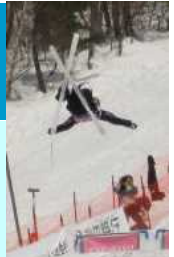
— MI TSU KASHIWA NO.38 —

平成31年2月26日発行

一流選手のプレーにふれて…

「FIS フリースタイルスキー ワールドカップ 秋田たざわ湖大会」観戦

2月23日(土)、たざわ湖スキー場で行われたモーグルのワールドカップを、5、6年生が観戦しました。今回も天気に恵まれ、目の前で繰り広げられる世界レベルの戦いを楽しみました。どのような感想をもったのか、是非ご家庭でも聞いてみてください。5、6年生の皆さんは、見て感じたことを後輩にも伝えて欲しいと思います。



“本” にまつわる三つの話



おどろく

市読書感想文コンクール入選！

2月17日(日)、総合情報センターで「仙北市読書感想文コンクール表彰式」が行われ、高学年の部で入選した6年T.君が表彰をされました。

受賞作品は、今西乃子著『犬たちをおくる日』(金の星社)を読んで書いた「命を守ること」。動物愛護センターの取組をとおして、命の大切さを考えた作品です(裏面に全文を掲載しています)。T.君、受賞おめでとう！



あじさい

一番心に残った話は何かな？

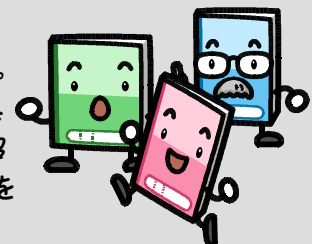
2月19日(火)、今年度最後の「おはなしコンサート」がありました。コンサートは、ほぼ2ヶ月に1回ずつ行われてきました。本の読み聞かせだけでなく、手話を交えた歌を一緒に歌ったり、英語の勉強をしたり、毎回楽しい朝の時間になりました。最後は、コンサートの先生方に手作りのメダルと花束をプレゼントして感謝の気持ちを表しました。先生方、一年間ありがとうございました。



うれしいです

校長先生、読んでみてください！

先週、別々の日に1年生と4年生の子が本をもって校長室に来てくれました。「この本面白かったので、読んでみてください」とのこと。昨年暮れには、読書集会で校長が紹介した本を読んだ感想を言いに来てくれた子もいました。人に紹介したい本に出会えること、その本を人に紹介できること、同じ本に関する対話をとおして人の考えにふれられること、とても素敵なことだと思います。





「命の大切さ」

白岩小学6年 T.

本の表紙に、飼い主を待ち続けるような悲しそうな顔をしている犬の写りが大きくのっています。ぼくは、何という顔をしているのだろうと心をひかれました。この本は愛媛県動物愛護センターという所で、犬たちの命を救うために働く職員さんのお話です。ぼくは、犬の命を軽く見ている人たちを腹立たしく思い、命を大切にしたいと思う職員のせつない気持ちを強く感じ、考えさせられました。

犬をペットとしてとてもかわいがっている人は、ぼくの知っている人にもいますが、反面たくさん犬が捨てられ、野良犬になって被害を出してしまうことがあるのは知りませんでした。そんな犬たちを愛護センターでは保護します。様々な経路で、こうした犬が送られてくるのでした。ぼくは、捨てられた命を助けるのは必要だけど、それよりも捨てられる命をなくすほうが大事だと思いました。なぜ、野良犬が増えるのかというと、飼い主が子犬ができないようにする手術をしていない犬を捨てたり、または子犬が一度に何びきも生まれ、育てきれなくなってどこかに捨てたりするからです。人間の勝手な事情で殺処分されなければならない犬たちがとてもかわいそうで、残こくで、心が苦しくなりました。これは、飼い主が自分で犬を殺しているのと同じです。職員の言葉に「この世の中から犯罪がなくならないように、犬を捨てる人もゼロにはならない」とありました。犬にだって、幸せになる権利はあるはずだし、人間と同じ命をもっているのにです。ゼロにはならないかもしれないけど、一度はかわいがっていた犬の幸せを考え、少しでもこのようなことがなくなってほしいと思います。

殺処分は社会的に問題になっていて、NHKの「クローズアップ現代プラス」でも取り上げられていました。

このセンターで働く人達の動物に対する愛情がとても深く考えさせられます。「どうせ殺す犬だから」という気持ちで犬たちを見ている職員はだれ一人としていません。後がない命だからこそ精一杯のことをしてやりたいと考えるのです。殺処分されるときまで、少しでもストレスをあたえないようにと、最後の最後まで命を尊重する心、守りたいという気持ちの熱心さに、ぼくは強く心を打たれました。そして、こんなに優しい心の持った人達が動物を処分しなければならぬときは、どれだけ辛い思いをするのだろうと思いました。

この本を読んで、命を預かるということの責任の重さや、命を愛して守ることの大切さを知りました。ぼくは、犬を飼っていませんが、犬を飼っている人に伝えたいです。動物は飼い主を信じ、幸せでいられることを信じています。どうか裏切らず、最後の最後まで命を愛し、守ってほしいと思います。



PTAへの出席、ありがとうございました

2月19日(火)に行われました今年度最後のPTAと授業参観に出席いただきありがとうございました。95%を超えるPTA出席率も、本校の自慢の一つだと思います。当日の授業参観では、ほとんどの学級で、生活科や総合的な学習の時間、国語などの時間で、子どもたちがこれまでの成長の様子やこれからの抱負を紹介する授業を行いました。小さいころの写真やクイズなどを交えた発表でした。授業の様子からお子さんの成長を感じとっていただけたでしょうか。前号でお願いした感想をまだ受け付けておりますので、ご協力の程よろしく申し上げます。